

塩基配列の通常の表記方法に従い、以下のように訂正いたします。

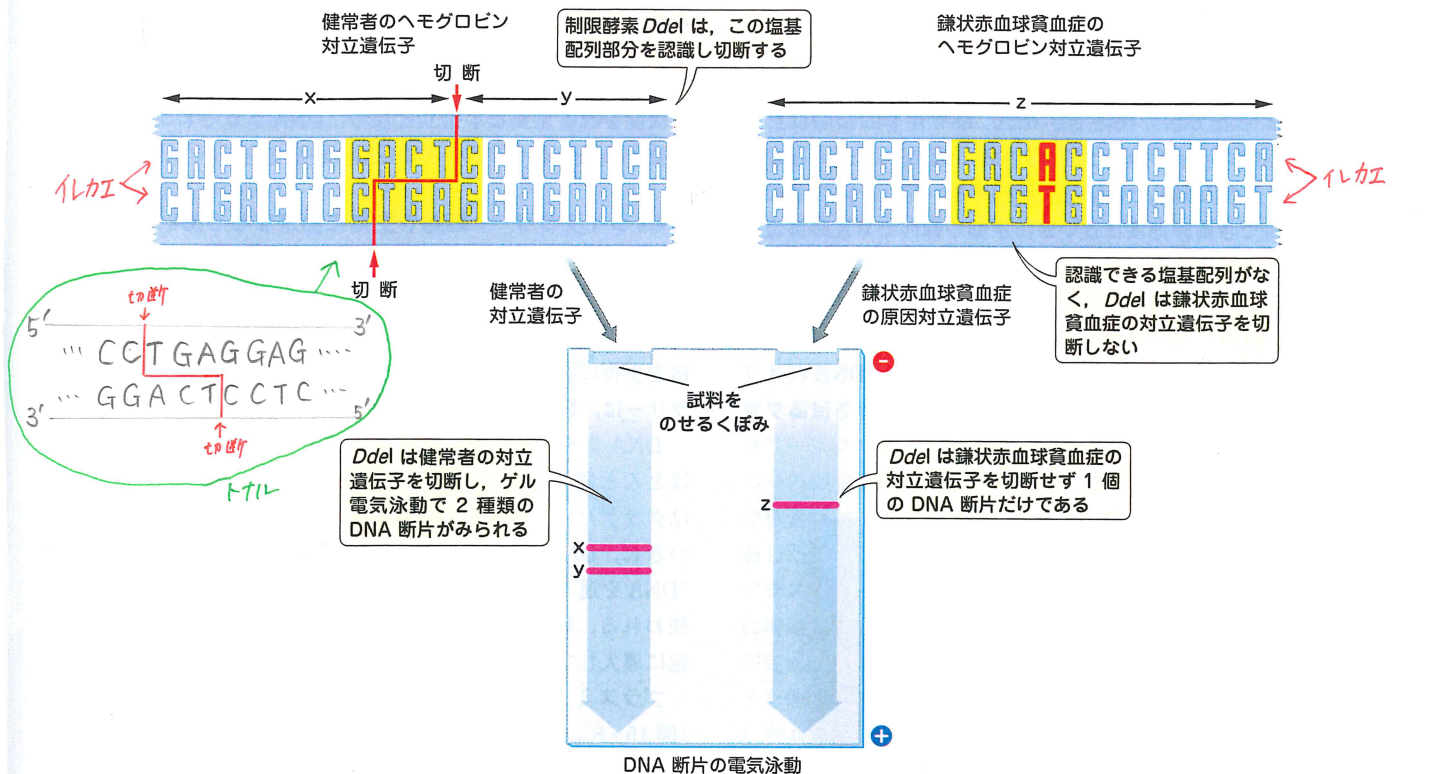


図15・5 制限酵素とゲル電気泳動を使って鎌状赤血球貧血症の対立遺伝子を検出する 制限酵素 *DdeI* は、DNAを塩基配列 GACTC CTGAG の箇所³で切断する(図の中の黄色の領域)。健常者のヘモグロビン遺伝子の対立遺伝子には、*DdeI*の切断箇所が一つだけある。塩基対のわずかに1個の突然変異(T-AがA-Tになる)が鎌状赤血球貧血症をひき起こすが、塩基配列 GACTC の部分が GACA になっている。*DdeI*は突然変異の配列 GACAを認識できないので、この部分ではDNAを切断しない。その結果、ゲル電気泳動で、健常者のヘモグロビン対立遺伝子からは2種類の長さの短い断片が生じるが、鎌状赤血球貧血症の対立遺伝子からは1本のDNA断片しか生じない。